

教科名 (科目名)	地理歴史 地理総合	履修学年	1 年	学科	普通・フロンティア 科
		単位数 (週当たりの授業時数)			2 単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評価方法	○各種テスト ○レポート、ワークシート (ノートを含む)	○各種テスト ○レポート、ワークシート (ノートを含む)	○レポート、ワークシート (ノートを含む)

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100～70	AAA	5
		AAB	
B	69～40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39～0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

【教科書】 高等学校 新地理総合 (帝国書院)
新詳高等地図 (帝国書院)
【副教材】 高等学校 新地理総合ノート (帝国書院)

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

○教科書の内容を、学習ノートを利用して進めます。さらに、地図帳で確認をしていきます。地図帳にチェックを入れたり、白地図でまとめたりすると、理解が深まります。
○授業では、地理用語を確認するだけでなく、「どのように形成されたのか」「なぜこうした事象が起こるのか」といった考える場面が多いです。また、作業を通して地理的事象を把握することもあり、積極的な授業参加が望まれます。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学期	4月	I 地図でとらえる現代世界 ・ 地図と地理情報システム ・ 結び付きを深める現代世界	・ 各種テスト （定期考査、単元テスト、小テスト等）	・ 各種テスト （定期考査、単元テスト、小テスト等） ・ レポート ・ ワークシート （ノートを含む）	・ レポート ・ ワークシート （ノートを含む）
	5月				
	6月				
	7月				
2 学期	8月	II 国際理解と国際協力 ・ 生活文化の多様性と国際理解 ・ 地球的課題と国際協力	・ 各種テスト （定期考査、単元テスト、小テスト等） ・ レポート（ポスター、プレゼン、作品等を含む）	・ 各種テスト （定期考査、単元テスト、小テスト等） ・ レポート（ポスター、プレゼン、作品等を含む） ・ ワークシート （ノートを含む）	・ レポート （ポスター、プレゼン、作品等を含む） ・ ワークシート （ノートを含む）
	9月				
	10月				
	11月				
	12月				
3 学期	1月	III 持続可能な地域づくりと私たち ・ 自然環境と防災 ・ 生活圏の調査と地域の展望	・ 各種テスト （定期考査、単元テスト、小テスト等） ・ レポート（ポスター、プレゼン、作品等を含む）	・ 各種テスト （定期考査、単元テスト、小テスト等） ・ レポート（ポスター、プレゼン、作品等を含む） ・ ワークシート （ノートを含む）	・ レポート（ポスター、プレゼン、作品等を含む） ・ ワークシート （ノートを含む）
	2月				
	3月				